

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	障がい者住宅改修補助		基本目標	障がい者の自立と社会参加の促進		
担当課(局)・係	健康福祉課	社会福祉係	記入者	上杉真理	評価者	井上敏郎
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	身体障害者手帳を有する者									
	意図・目的	障害者が居住する住宅の改修を助成することで、障害者が快適に生活できるよう助成するもの									
事業の内容	下肢障害者等が生活を営む住宅の段差解消等の改修に助成を行う。										
平成22年度決算額	800	千円	23年度予算額	1,600	千円	事業従事者数	H22 0.00	人	H23 0.00	人	
主な支出項目	金補助及び交	800	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費		0	千円	
			千円	県支出金		千円	23年度人件費		0	千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	0.0		%	
			千円	一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
			千円			千円					
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		障害者住宅改修助成事業補助金						
	補助交付団体		個人		補助金要綱						
	22年度	補助額	800,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額		円	終期	年度
		団体の決算額	1,193,902	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	67.0	%							
繰越額		0	円								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 助成件数	障害者のいる世帯の住宅改修を行い、快適な生活の助成
	2 助成額	住宅改修にかかった費用を助成することで個人負担の軽減を図る
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	助成件数	目標値	3	3	2	
		実績値		2		
		達成率	0.0%	66.7%		
	助成額	目標値	円	2,400,000	2,400,000	1,600,000
		実績値			1,600,000	
		達成率	%	0.0%	66.7%	
活動指標	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

事務事業名	障がい者住宅改修補助	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	0	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	0	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		10	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)	◎公益性が高いか	1	-
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	0	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	0	-
合計(最高4点)		1	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	障害者が家庭生活を快適に営むために、必要な事業である。	今後の方向性			
			拡充			
			現状維持	○		
			縮小			
			廃止			
			廃止	縮小	現状維持	拡充
			コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎障害者自立支援の観点からも事業継続の必要がある。事業の効果等の検証をしていただきたい。 ◎県の補助事業であり、事業継続するべきである。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	